

・保存版・



木もちe-デッキ 施工仕様書

こちらから

了解です！
じっくり
読んでから
始めます！



まず、これを
読んでから
施工しよう！



- ⚠️ この施工仕様書の内容をよくお読みの上、ご理解いただき施工してください。
- ⚠️ この施工仕様書の内容に沿った施工を確認するため、各チェック項目の□に☑️を入れ、この仕様書を保管してください。
- ⚠️ この施工仕様書の内容に沿わない施工によって生じたトラブルに関しましてはご相談に応じかねる場合がありますので、ご了承ください。
- ⚠️ ご不明な点がございましたら、現場からでもご連絡ください。

☎ 0597-27-3361 (平日 8:30~17:00)

(有)小川耕太郎∞百合子社

木もちe-デッキ施工仕様書

ウッドデッキは、屋外にあって日々、紫外線、雨風、土埃などに晒されています。とくにデッキ材が雨水や湿気で水分を吸収したままになると、木を腐らせる原因の腐朽菌が付着し繁殖しやすくなります。これを避けるためにも、デッキ材に日光をよく当て、風を入れて早く乾かすことが重要です。

デッキ材を長持ちさせる施工のポイントは、「いかに通風と水はけをよくするか」です。床下の風通しをよくし、木材どうしの接触部は小さくし、できるだけすき間をとって、雨水と湿気を逃がすようにしてください。また日当たりや風通し、湿気などの環境は、デッキの耐久性に大きく作用しますので、その環境に合わせた施工工夫をお願いいたします。

納材時に



- 開梱時に納材品を検品ください。木もちe-デッキ材は無垢の天然木材のため、一本一本色目や木目、質感などが異なります。
- 軽微な反り、割れ、入り皮、ささくれ、節穴、ムシクイなどの材は基準品としています。また床板についても木表、木裏のどちらかで使用できる材は基準品と判断していますが、あきらかな欠陥材については交換しますので、お知らせください。(材の到着後、一週間以内にお知らせください)
- 長期間保管する場合は、直射日光や雨のかからない屋内で、梱包材やビニールシートを解いて保管ください。特に梅雨時などにビニールシートなどで覆って湿気を溜めると、変色やカビが発生することがありますのでご注意ください。
- 長期間放置では、環境によっては極端な反りや曲がりがある場合があります。ご了解ください。

床下工法別の注意点



【サンドイッチ工法】

- 根太は束上面より10mm上げて、床板と束上面が接触しないよう注意してください。

【大引きパッキン工法】

- 大引きと床板との間に必ず樹脂製パッキンを挟んでください。大引きの上に直に床板を密着させるのは、耐久面で不安がありお勧めしません。
- 2階デッキなどで、梁桁や大引きで床板を受ける場合は、受け材の上に板金を敷き、その上に樹脂製パッキンを置いて、床板をビス留めしてください。

【バルコニー対応工法】

- コンクリート上に根太や大引きを直置きするのは、水の流れを阻害し湿気が溜まるため、絶対におやめください。

施工時に



■地面の整備

- デッキの地面は、地盤固めや水平出しなどの基礎作りをしっかりと準備ください。
- 地面は土間コンクリートやタイルにすることで、湿気や雑草を防ぐことができます。その際、雨水を逃がすように勾配もとってください。コンクリートでない場合も、砂利や防草シートを敷くなど、なるべく地面の環境改良を配慮ください。

■束立て

- 木もちe-デッキの束(90×90)が土の地面に接したり、コンクリートから湿気を吸い上げることはないよう、束石や平板、パッキンなどを挟んで縁切りしてください。

■根太ピッチ

- 根太ピッチは、床板40mm厚で900mm以下にしてください。(床板30mm厚では600mm以下) これ以上ピッチを上げると、デッキ材にたわみがでて早く傷みます。
- 根太や大引きより床板が飛び出すオーバーハングも、荷重で床板がたわみますのでご注意ください。

■床板の仮並べ

- 床下のつくりが仕上がった際に、床板を仮置きして全体のバランスや配置を確かめ床張りしてください。

■床板のすき間

- 床板のすき間は雨水を逃がすため、原則10mm程度とってください。(ただし、小さいお子さんがいるなど、条件によってはすき間を小さくしてください)
- 床板を縦に継ぐ場合も、5mm程度のすき間をとってください。

■フェンス材等との接続

- デッキと一体型フェンスでは、フェンス材が床板に直に接触したり、床板から直に立ち上げたりすることのないようご注意ください。フェンスの支柱と床板の接触部もすき間をとって、雨水を逃がすようにしてください。

■支柱と笠木の接続

- 支柱と、笠木や横木との接面も湿気が溜ると傷みやよくなるため、L字の金物などの使用により隙間をつくり、通風と水はけをとってください。

■幕板

- 幕板は、通風と水はけを損なうおそれがあり、お勧めしておりません。
やむをえず幕板を張られる場合は、床板の木口とのすき間に金具を挟んで雨水を逃がす工夫をしてください。
- 幕板で床下側面を覆ったり、デッキの床下全面を幕板で囲む施工は絶対におやめください。

■ウッドロングエコ

- カットした木口には必ずウッドロングエコを二度塗りしてください。
(ウッドロングエコ3gを500mlの水に溶かして刷毛塗ります。詳しくは、ウッドロングエコのカタログをご覧ください)

■コーススレッド

- ビスに限らず、デッキで使用する金具はすべてステンレス、あるいはメッキ処理済のものをご使用ください。ビス(木ネジ)の長さは床板(40mm)を留める75mmと根太等(30mm)を留める65mmがおすすめです。また大引き工法で床板を留める場合は、樹脂製パッキン(20mm)の厚みの分、100mmのビスをご使用ください。
- ビスは、床板へのめり込みがないようご注意ください。

■ホゾ、仕口加工

- ホゾ切りや仕口加工などは、デッキ材内部に雨水が染みこみ、腐りの大きな要因になりますので、おやめください。

■デッキの独立性

- デッキは家と一体化せず独立した方が、後々のリフォームも容易になります。同じく家のサッシ窓下や雨戸下などに床板を潜りこませず、すき間をとって雨水が抜けるように施工してください。

御施主様名

様 邸

施工完了日

年

月

日

施工業者様名

施工責任者様名



【製造・販売元】(有)小川耕太郎∞百合子社

〒519-3921 三重県尾鷲市賀田町105

TEL.0597-27-3361 FAX.0597-27-3390

e-mail mitsurou@ztv.ne.jp

商品詳細につきましては、HP(スマートフォン対応)、カタログをご覧ください。

<http://www.mitsurouwax.com>